

DX時代におけるビッグデータ駆動型の健康科学研究



講師

松井 佑介 先生

東海国立大学機構 糖鎖生命コア研究所
統合生命医科学糖鎖研究センター
数理解析部門 (部門長)

◆日時：2024年 1月 12日 (金) 16時35分～18時05分 (オンライン)

◆開催方法：オンライン開催

講演概要

ビッグデータ技術の進歩により、健康科学分野でのデータ科学駆動型の研究が増えている。分子レベルの現象を理解するためのオミックスデータ、介入効果を測定するための疫学的データ、ウェアラブルデバイスのデータなど、多岐にわたるビッグデータをオープンに利用できる機会が増えている。このようなデータは従来、専門家しか扱えなかったが、オープンサイエンスの進展により、技術が民主化され、より容易に扱うことができるようになった。これらのビッグデータを活用することで、健康科学分野においても研究を加速させることができる。本講演では、ビッグデータ駆動力とする研究デザインやアプローチについて議論する。老化やがん、認知症等の疾患メカニズム、またエクササイズ等のヘルスケア介入効果のメカニズム理解を目指すシステム生物学的アプローチを紹介する。

問い合わせ先

伊藤和義：kazuyoshi★soka.ac.jp

研究所HP：https://www.soka.ac.jp/glycan/

